

シンガポールでの石川県観光プロモーションについて

日本への旅行再開と観光プロモーションについて

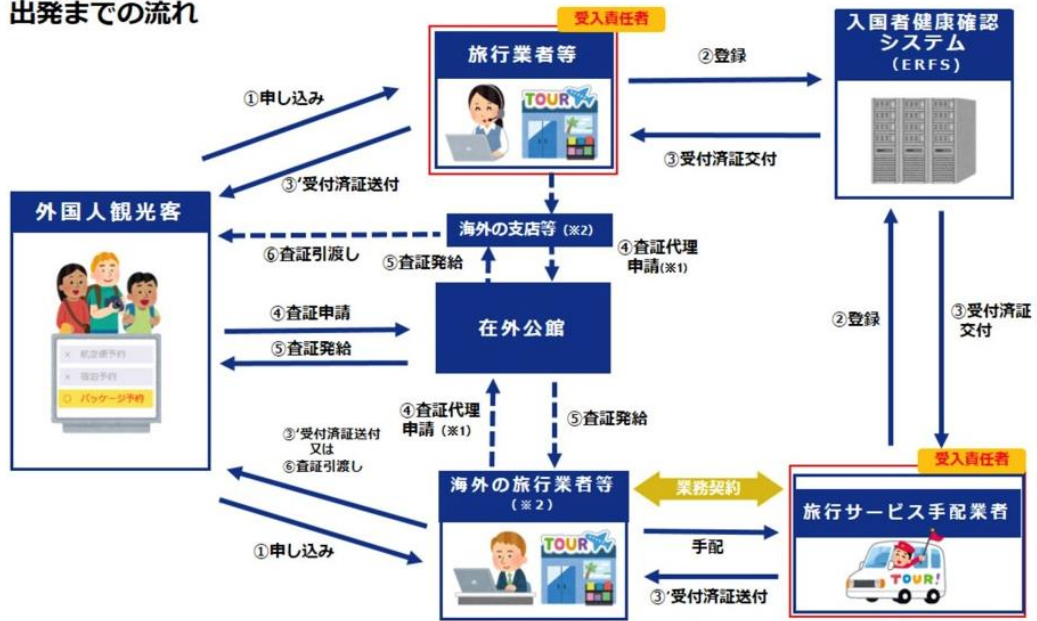
皆さまご承知の通り、日本は、2020年以降、新型コロナウイルス感染症の対策として海外からの旅行者の受け入れを制限してきたところですが、6月1日より1日あたりの外国人入国者の上限をこれまでの2倍の2万人にしたほか、同月10日より、約100の国や地域からの観光客の受け入れを再開したところです。観光庁が実施した「訪日観光実証事業」で得られた知見を反映し、発表されたガイドラインによると、現時点で受け入れ可能となっているのは各国・地域を「赤」「黄」「青」の3つに区分されたもののうち、入国時検査を実施せず、入国後の自宅待機を求めないカテゴリーの「青」区分の国・地域から入国する「旅行業者等を受入責任者とする添乗員付きパッケージツアー（あらかじめ決められた行程に沿って行われるものであり、入国から出国までの全行程を通じて、添乗員が同行し、行程管理するもの）」の参加者となっております。また安全・安心に旅行いただくため、添乗員は、「ツアー参加者に対し、（中略）必要な感染防止対策についてこまめな声かけや、注意喚起を行うこと」や「ツアー参加者に対し（中略）新型コロナウイルス感染症の症状がある場合には、もれなく報告を行うことを要請」し、「旅行中のツアー参加者の行動履歴を保存」することなど条件が厳しく定められております。

また、シンガポール旅行会社では、世界中で待ちに待った訪日旅行受入再開に先立ち、訪日旅行ツアー販売のためのジャパンリカバリーフェアが開催されました。そこには観光庁が任命している VISIT JAPAN 大使のジョージリム氏を中心として当県のほか、北海道、静岡県、沖縄県など在外自治体や JR、航空会社が参加し、観光パンフレットなどを用いて観光先情報の発信を行いました。

来場された方からは「今の時期はどんな食べ物が美味しいのか?」「どのシーズンがオススメか?」などの質問がありました。

想定以上の来場につき、一時、お客様の列ができる場面もありましたが、訪日旅行への期待の現れと実感しました。こうした機会を通じて今後も石川県を PR して参りたいと考えています。

訪日旅行 出発までの流れ



(※1) 代理申請機関が決まっている国・地域では、代理申請期間を通じて申請する必要がある。
 (※2) 在外公館が所管する国・地域に所在する旅行者、支店等。

観光庁 HP 抜粋「訪日旅行までの作業フロー」



訪日旅行に興味を持つシンガポリアンで会場が埋め尽くされたシンガポール旅行会社でのフェア会場の様子

シンガポール石川県アンテナショップ開設事前 PR について

5月に開催しました石川フェアに続いて、6月17日（金）から7月31日（日）まで、高級日本食レストラン「茜」に置いて、県産食材や伝統的工芸品を使った料理を提供する石川フェアを開催しています。

このフェアでは、県産食材としてスルメイカや赤ナマコ、ドジョウなどの水産品をはじめ、焼きいなりやデザートのみかん大福といった多彩な食材を用いたコース料理や地酒が提供されます。

さらに、料理には県産の金箔をまぶし、盛り付け皿には九谷焼を用いており、石川の豊かな食材が、伝統的工芸品の器に鮮やかに盛り付けられております。また、訪れたお客さんに観光パンフレットを配布し、本県の観光情報の発信も行いました。

6月17日（金）のフェア初日には、レストランは満席となる盛況ぶりであり、来店客からは、「石川の食文化の一端を堪能することが出来た。」「観光再開となったので、石川県への旅行プランに非常に興味があり、行ってみたい。」また、当レストランのシェフからは、「石川の食材は高品質であるため舌の肥えた当店の来店客にも、素材の良さを存分に楽しんでいただいている。料理を通じて、一人でも多くのシンガポール人に石川の食や食文化の魅力を伝えていきたい。」と高評価をいただきました。

今回の石川フェアを通じ、アンテナショップでの販路拡大に繋げて参りたいと考えています。



石川フェアコースメニュー

駐在員等会議について

2年以上ぶりにクレアシンガポール主催の駐在員等会議が対面開催されました。この2年間、コロナ感染防止対策として同時に集まれる人数に制限があったためオンラインでの開催でしたが、今回は地方自治体のタイ駐在員の出席も含め17自治体・団体（ほか、一部ハイブリッド参加あり）がシンガポールに一堂に会して開催されました。当日は各自治体の取り組みについて情報共有が行われ、興味のある・参考にしたい事業について、会議終了後に個別に打ち合わせできるなど、対面開催の良さがありました。オンライン会議は便利で時間を問わず開催できますが、やはり対面に勝るものはなく、内容に応じて対面とオンラインを織り交ぜて効果的な事業を推進して参りたいと考えております。